西日本豪雨災害支援ボランティア

「自由あそびのひろば」

平島の子ども一時預かり

瀬戸町地区住民有志が被災世帯支援

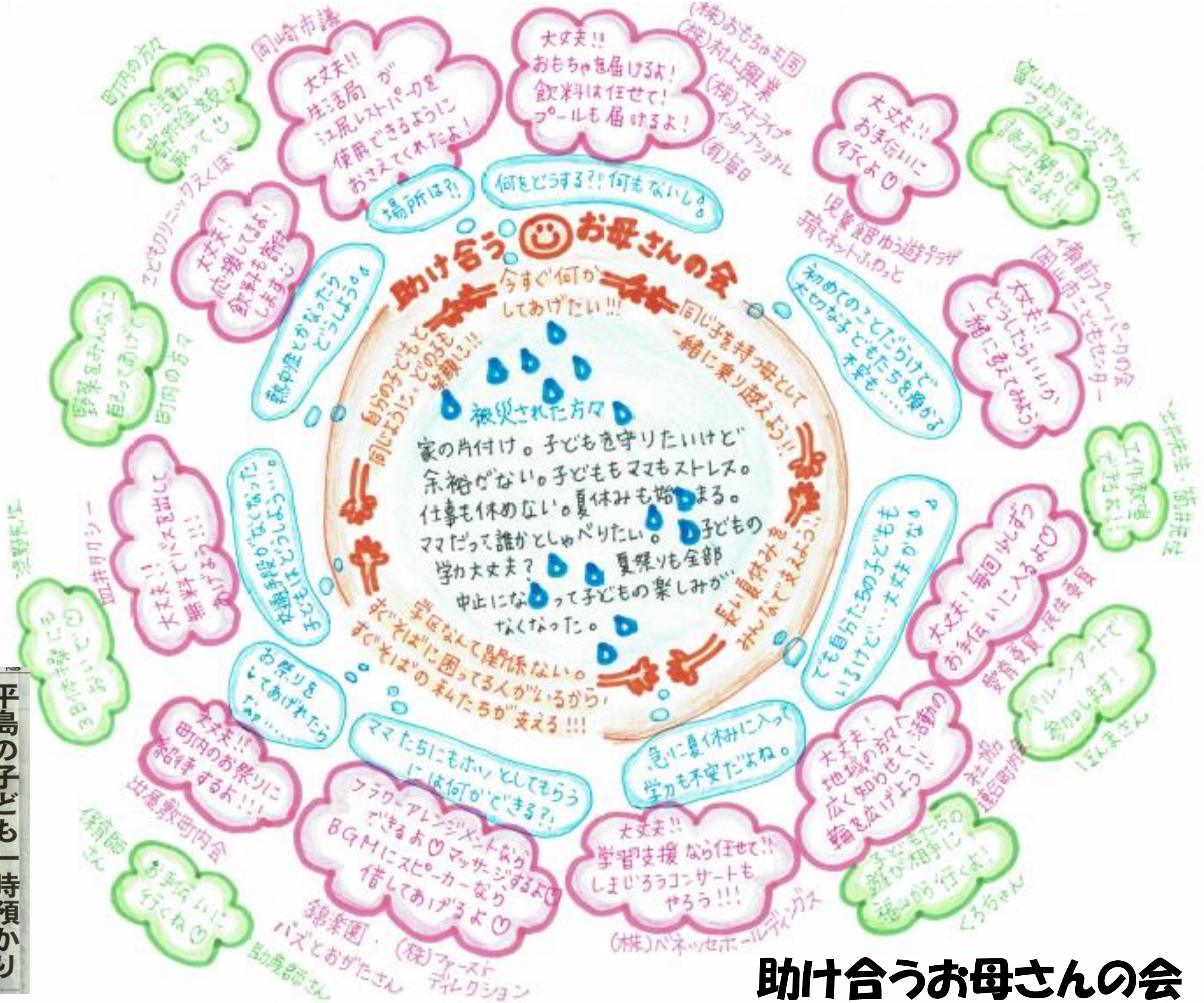
岡山市東区瀬戸町地区の住民有志が、旭川水系・砂川の堤防決壊により深刻な浸水被害を受けた同平島地区の子どもを一時預かりするボランティアに取り組んでいる。片付けなどに追われる子育て世帯の支援が目的で、メンバーは「被災した保護者の一助になれば」としている。（須藤里恵）

同瀬戸町地区で子どもの外遊びを企画するボランティアグループ代表の枝広真祐子さん（38）＝同瀬戸町旭ケ丘＝が、平島地区で小学生の保護者らが子どもの預け先に困っている話を聞いて発案。知り合いなどに声を掛けて約50人が賛同し、案内ちらしを同地区の保護者に配るなど準備を進め、今月20日にスタートした。

活動は、平島地区から車で10分程度の場所にある「江尻レストパーク」（同瀬戸町江尻）で午前10時～午後6時に実施。2時間単位で1日1～4こまを設け、1こま当たり幼稚園児や児童ら30人程度が訪れるという。子どもたちは同パークの研修室でメンバーが持ち寄った人形やブロックで遊んだり、外でプールを楽しんだりしている。23日も朝から計23人が利用。幼稚園に通う子ども2人を昼から連れて来た藤原田希子さん（43）＝同南古都＝は「床上浸水した近所の友人や親戚らの手伝いをしているので助かる」と話した。

今後は、子どもたちへの学習支援なども計画。枝広さんは「平島地区では乾いた砂が舞って、子どもが外で遊べないとの声も聞く。伸び伸びと遊んでほしい」としている。

一時預かりで遊ぶ子どもら＝23日、江尻レストパーク



助け合うお母さんの会